

5 直売所出荷を目的とした低温開花性キクの選抜

ねらいと成果

各地の直売所で売られる切り花は鮮度、日持ちが良いことを理由に、販売量、額ともに大きく伸びている。とりわけ、仏事用として利用されるキクの人気は高い。園芸部ではこれまでお盆と秋の彼岸需要に向けてピッタリ開花させる栽培技術を開発、普及した(ひょうごの農林水産技術No126)。次に求められるのは、残された特需期である正月及び春の彼岸に向けた栽培技術である。しかし、この時期は秋冬の低温期を経過するため、温室などの施設や暖房等のコストがかかり、直売所出荷を目的とした栽培には不向きとされてきた。そこで、今回、コストを下げため、電照による開花調節が可能で、低温でも開花するキクの選抜試験を実施した。その結果、年末出荷用24品種、春の彼岸出荷用12品種を選抜した。

内 容

(1) 電照により年末収穫が可能な品種の選抜

県下で栽培されている秋ギク及び寒ギク42品種を8月15日に雨よけハウスに定植し、定植日から10月5日、10月17～19日の間、白熱電球で3時間(22～1時)照明した。その結果「初霜」、「寒椿」、「寒振袖」など一輪(大輪)ギク12品種、「寒秀美」、「寒水」など小ギク6品種、「トロア」、「ダンカン」、

「セレッテ」などスプレーギク6品種、合計24品種に電照効果が認められ、12月以降に80cm以上の十分な草丈で、正常に開花したことから、正月需要の年末収穫用に適した品種として選抜した(表1)。

(2) 電照と低加温で3月収穫が可能な品種の選抜

県下で栽培されている夏、夏秋、秋、寒ギクなど75品種を10月26日に加温ガラス温室に定植した。定植日から12月20日、12月31日～1月3日の間、白熱電球により3時間照明(22～1時)し、2℃、7℃、12℃の異なる夜間(18～6時)最低気温で管理した。

その結果、2℃、7℃ではすべての品種が高所ロゼット化したり(図)、着蕾したが開花に至らなかったり、ヤナギ芽になったりして、正常開花しなかった。一方、12℃では33品種が開花し、そのうち、「月光」、「寒水」、「赤風車」など12品種が3月に66～117cmの草丈で開花したので、春の彼岸需要の3月収穫用に適した品種として選抜した(表2)。

今後の課題

現地において選抜品種を用いた12月中～下旬及び3月開花技術を実証する。さらに、12℃加温期間の短縮による低コスト3月開花技術を開発する。

山中 正仁(農業技セ・園芸部)
(問い合わせ先 電話:0790-47-2424)

表1 電照により年末収穫が可能な品種例

品 種	タイプ	花色	花形	自然日長		暗期中断処理		
				開花日 (月.日)	草丈 (cm)	開花率 (%)	開花日 (月.日)	草丈 (cm)
初霜	一輪	白	八重	11.24	66.3	100.0	12.12	91.7
寒椿	一輪	赤	八重	11.23	77.3	100.0	12.13	101.0
寒振袖	一輪	赤	八重	11.29	71.0	100.0	12.20	88.7
晩秋	一輪	茶	八重	11.11	62.7	100.0	12.21	84.3
うたげ	一輪	赤	八重	11.14	55.0	100.0	12.22	78.3
紅福運	一輪	赤	八重	11.24	72.3	100.0	12.22	85.0
寒秀美	小ギク	赤	一重	11.21	62.7	100.0	12.13	85.7
寒水	小ギク	白	丁字	11.29	68.3	100.0	12.18	88.7
トロア	スプレー	濃ピンク	一重	11.25	117.3	100.0	12.11	127.7
ダンカン	スプレー	黄	一重	11.27	76.7	100.0	12.13	98.7
セレッテ	スプレー	淡ピンク	一重	11.18	108.3	100.0	12.22	118.0

表2 電照と12℃加温により3月収穫が可能な品種例

品 種	タイプ	花色	花形	開花日 (月.日)	草丈 (cm)
月光	一輪	黄	八重	3月4日	77.3
晩秋	一輪	茶	八重	3月11日	81.0
寒水	小ギク	白	丁字	3月5日	85.3
赤風車	スプレー	黄地弁朱赤	一重	3月2日	95.0
コーラス	スプレー	白	丁字	3月7日	114.3



図 低温で高所ロゼットして開花しなかった品種